

東京医師アカデミー クリニカルフェロー

(集中治療系) 小児循環器集中治療コース 募集要項

1) 応募資格	平成31年4月時点で6年以上の医歴があり、以下のすべての要件を満たしている方 ① 小児科専門医もしくはそれ相当（応相談）をもっていること ② 小児循環器集中治療に熱意があること
2) 募集人員	1名程度
3) 所属先	東京都立小児総合医療センター
4) 研修期間	3年間
5) 選考日	平成30年10月26日(金)(予定)
6) 選考会場	応募者に直接連絡いたします。
7) 選考方法	個別面接(20分程度)、口頭試問(20分程度)
8) 合否連絡	選考後3週間以内に合否をご本人にご連絡いたします(合格通知後1週間以内に誓約書の提出をお願いいたします)。
9) 応募方法 提出書類	以下のものを申込期限までに下記 11)の申込先に郵送すること ① 応募用紙兼履歴書 ② 医師免許証の写し ③ 認定医・専門医等の資格証明書の写し ④ 推薦状2通 ※提出いただいた書類はご返却できませんので予めご了承ください。
10) 申込期限	平成30年10月5日(金)必着
11) 申込先及び 問合せ先	〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 東京都庁第一本庁舎24階中央 病院経営本部経営企画部職員課医師アカデミー担当 (電話)03-5320-5861
12) コース内容 に関する 問合せ先	清水 直樹 (東京都立小児総合医療センター 救命・集中治療部 部門長) (電話)042-300-5111(代表)
13) 備考	選考日当日は、医師免許証の原本を持参すること。

(集中治療系) 小児循環器集中治療コース

主たる研修病院 (所属病院)	東京都立 小児総合医療センター	
連携して研修する病院・施設 (予定)	ECMOフェローにおける連携で実績のある東京都立多摩総合医療センター・榊原記念病院・東京医科歯科大学・日本医科大学・福島県立医科大学・岡山大学・大阪大学・東京大学・東京女子医科大学・理化学研究所・国立成育医療研究センター・海外結核施設(英国・北欧・北米・シンガポール等)のうち、大阪大学附属病院・国立循環器病研究センター・埼玉医科大学国際医療センター・榊原記念病院・北里大学医学部を筆頭に検討する。なお、ドバイの小児ハートセンターでの臨床研修も検討対象として交渉中である(ほぼ間違いなく可能)。	
研修時に必要とする知識・技量 (応募資格)	小児科専門医を有していることが望ましい(それ相応の資格については応相談)。その基盤の上に、小児循環器・外科・麻酔・集中治療の技量を習得する。小児集中治療領域のなかで、小児循環器集中治療が占める割合は50%以上である。症例数の多さだけではなく、小児循環器集中治療の品質向上がまた直接的に、小児集中治療全般の品質向上に直結する関係性にあることも重要である。一方、小児集中治療領域全般の研修は、小児麻酔・小児循環器・(成人)救急・(成人)集中治療と、きわめて広汎な領域をカバーしなければならない。しかし、昨今の小児循環器集中治療の進歩のなか、小児集中治療にかかる通常の研修スタイルでは、小児循環器集中治療の最新の水準に到達することは困難になりつつある。さらに、旧来のような小児病院型の小児集中治療室(PICU)だけでなく、大学病院型のPICUの設置が増え、小児科医・小児循環器科医がPICUの運営に直接携わる機会がふえつつある昨今、小児循環器集中治療専門医の需要と、その品質向上の必要性ならびに教育体制の確保は、喫緊の課題となりつつある。このコース設置は、こうした昨今のわが国における小児医療・小児循環器領域・小児集中治療領域の需要のみならず、東京都における当院PICUの将来像も勘案し、小児循環器集中治療領域の学際的かつ最先端の教育体制の確立・提供をすることを目的としている。	
コース 責任者	氏名(所属)	清水 直樹 (東京都立小児総合医療センター 救命・集中治療部)
	資格名	救急科専門医、集中治療専門医、小児科専門医、麻酔科標榜医、日本DMAT隊員
	専門分野	救急医学、集中治療医学、蘇生科学、ECMO
臨床指導体制	上記のとおり、都立病院系列で学び得ない内容を取得し、都立病院系列に還元したい。都立・公社病院で適切な場所は残念ながら存在しない。だからこそ、このクリニカル・フェローシップの設置が必要と考える。大阪大学附属病院・国立循環器病研究センター・埼玉医科大学国際医療センター・榊原記念病院・北里大学医学部等を筆頭に検討する。海外では、トロント小児病院・エドモントン小児病院・バンクーバー小児病院が検討対象となるが、それ以外でも可。特に、ドバイの小児ハートセンターでの研修は、直接的に海外の臨床研修に参加できることが特徴となる。研修終了後は、都立小児総合医療センター救命・集中治療部の常勤医としての昇進、あるいは都立病院救急部門・集中治療部門への就職を最優先として考慮する。将来的には、都内大学病院教官としてのステップアップも支援したい。小児循環器集中治療診療の知見をもって、東京都あるいは国の医療行政への一時的転進(厚生労働省人事交流などを通じて)も有益である。個人的事由による東京都外への就職は否定し得ないが、東京都プログラムとして養成してきた貴重な人材であるため、東京都の財産として都内において大切にしたいと考えている。	
臨床研究	これまで 行ってきた 研究と実績	集中治療全般の研究は、わが国のトップに位置している。とくにECMOにかかる研究は、卓越している。小児循環器集中治療にかかる研究としては、院内の手術症例数に制限があるため限界があり、集中治療の側面から小児循環器周術期の体外循環管理、生体情報モニタリングの先進的開発(心停止予測機能にかかる東京都立病院臨床研究等)などの研究がこれまでの業績の一環である。
	今後行う 研究と 研究体制	ECMO・体外循環にかかる研究は、東京医科歯科大学・ロンドンインペリアルカレッジへ大学院生を送り込んでおり、今後さらに連携研究が進む予定である。また、心停止予測機能については現在、TMEDの関連で首都大学との共同研究を具体的にすすめており、わが国における革新的研究のひとつとなるものと思われる。当院としてはこうした小児循環器集中治療を支える集中治療的インフラの研究を行い、今後のCICUフェローによる他施設連携・国際連携をもとに、より多くの小児循環器症例を対象とした臨床研究をWINWINの関係で進めてゆく。
研修項目	小児循環器集中治療の専門医としての深い知見を、進歩の激しいこの領域の最先端も含めて獲得する。そのためには、第一に、小児集中治療全般の素養を前提として、小児循環器・小児心臓外科・小児心臓麻酔の各3領域をまんべんなく研鑽し、先天性心疾患に対峙するチーム医療の要としての小児循環器集中治療医として機能しうる素養を身につける。第二に、小児病院の上記3領域では習得し難い、不整脈治療(GRTやベースメーカー含む)、機械的循環補助(VADはじめ各種人工心臓やImpellaなどの最先端治療デバイス含む)、先天性心疾患のcarry over/adult congenital症例の周術期管理などは、国内の成人統合施設における研修を組み込む。とくに、機械的循環補助については昨年から始動しているECMO/移植再生医療クリニカル・フェローコースで開拓した諸施設との連携をもとに充実した研修計画を確保する。第三に、先天性心疾患の胎児診断・胎児治療等の研鑽である。この領域は小児循環器領域で不可欠なものであるにもかかわらず、小児総合・多摩総合をはじめ都立病院系列で根本的にインフラストラクチャと臨床能力が欠損しており、これは東京都における当院ならびに当院PICUの将来像にとって危機的状況である。よって、先天性心疾患の胎児診断・胎児治療等にかかる最先端の研鑽が今後にとっても極めて重要となる。第四に、全領域にかかる最先端の研修を目的とする国外研修も計画に盛り込むこととする。	
研修内容・達成目標	0) 前提としての小児集中治療全般の素養: 基本的に小児集中治療フェローシップを修了した者が望ましいが、意欲と能力があればその限りではない。その場合は、通常よりも短期間で小児集中治療全般の研鑽を提供し、前提条件を満たすようにする。 1) 小児循環器・小児心臓外科・小児心臓麻酔の3基本領域の研鑽: 小児循環器・小児心臓外科は3ヶ月程度以上の一定期間のローテーションを行う。小児心臓外科については助手として術野に入る経験を例。小児心臓麻酔については、0)で満たした小児麻酔の研鑽を前提として先天性心疾患の麻酔を経験する。症例数としては1ヶ月10例弱として30-50例の麻酔経験が望ましいが、国内他院研修を含めてまんべんない術式経験がのぞましい。また、臨床工学技士からのポンプにかかる指導も得るようにする。 2) 不整脈治療・機械的循環補助・adult congenital周術期管理は、成人循環器集中治療とともに診療をしている施設(例: 大阪大学附属病院集中治療部・国立循環器病研究センター・埼玉医科大学国際医療センター・榊原記念病院・北里大学医学部等)で研鑽をする。この際、ECMO/移植再生医療クリニカル・フェローコースで開拓した諸施設との連携が活きる。 3) 先天性心疾患の胎児診断・胎児治療は、国立循環器病研究センターをはじめ榊原記念病院等、あるいは海外研修(例: トロント小児病院胎児診断・治療部門)にて最新の研鑽をする。 4) 海外研修の場としては、トロント、エドモントン、バンクーバーなど、北米を中心に選択することとなる。その際、心臓移植関連の研修も組み込む。	
コース内容に関する 問合せ先	清水 直樹 (東京都立小児総合医療センター 救命・集中治療部 部門長) TEL: 042-300-5111(代表)	